

絹の道職場長会議連絡表

令和 7年 10月 1日(水)

部署名	援助課	記入者	佐藤 翔太	
項 目	内 容			
報 告	【入居者状況】			
報 告	武内 和江様	9月19日PMに食堂にて転倒される。頭部を打たれたご様子はないが右大腿部付近をかなり痛がられる様子あり、立ち上がられることができない。NS連絡し居室ベッドにて臥床して頂く。清智会記念病院受診となり右大腿部転子部骨折の診断をされ入院となる。9月24日に手術され10月初旬退院予定。フロアにてカンファレンスを行い食堂に見守りカメラを設置する予定。		
	須藤武司様	9月14日に1度目の嘔吐あり、その後嘔吐が断続的に続く、絶飲食、点滴施行となる。水分のみから開始となり徐々に食事量を増やし、9月下旬より通常の食事量を召し上がられ、体調不良なく過ごされています。引き続きご本人様の体調に留意し様子観察を行っていく。		
	守屋隆範様	9月6日離床の為訪室するとベッド上にて中量の嘔吐あり朝食中止の指示あり、排便多量に見られる。嘔吐者対応となり居室を217号室へ変更し様子観察を行っています。その後回復されお元気に過ごされています。便秘がちな為、便秘薬変更し排便状態良好。		
	西村久美子様	9月4日に38℃の熱発あり検査し、コロナ陽性、痰が絡み苦しそうな様子あり、吸引、点滴施行食事が摂れない日が続くも徐々に回復され現在直前離床にてお食事を召し上がられています。		
	平井英子様	9月4日昼食前に体熱感あり検査しコロナ陽性、治療薬処方、酸素20流動食事が摂れない日が続き、痰がらみも見られる。9月中旬より徐々に回復され現在直前離床にてお食事を召し上がられる。		
	塩見和子様	9月4日夜間に38℃の熱発あり、翌5日に検査を行いコロナ陽性、経口摂取進まず点滴施行、痰がらみ見られる。9月下旬より徐々に回復される。引き続き様子観察を行っていく。		
	小松幸子様	ご自分でトイレに行かれ、便秘の把握が出来ない為、座面センサーを購入する予定。座面センサーが届くまでは夜間の便による意識消失を避ける為、月曜日と木曜日のD勤帯にラキソを服薬し様子観察を行う。		
	新型コロナウイルス	9月1日陽性者判明、9月15日終息。ご迷惑をお掛けしました。		
		ご利用者様陽性者7名。		
【連絡】	【行事】	10月8日特養買い物代行予定		
		10月19日14時～家族研修会、家族会担当支援課林・援助課佐藤翔		
		10月26日特養運動会		